

第24回 市川手児奈文学賞

応募作品
募集中

市川は「意飾の真間の手児奈」が万葉集に詠まれて以来、そのむかしから多くの文学作品の舞台となってきました。文芸風土豊かな市川を詠んだ「短歌・俳句・川柳・詩」を全国から募集します。

募集作品 短歌・俳句・川柳・詩の四部門。各部門につき五点までとする。

募集テーマ 一般の部：二〇三在市川を詠む「市川の自然・文化・祭・史跡や建物、市川ゆかりの人物などを題材とする。

応募規定 子どもの部：「自由題」

短歌・俳句・川柳部門
応募用紙又はハガキの裏面に左記の必要事項・作品を明記。

ただし一枚につき作品一点。

詩部門

四〇〇字語原稿用紙三枚以内。原稿用紙に楷書・縦書き、ア・プロ・パンで執筆し、四〇〇字詰換算枚数を併記。作品の右肩を綴じ、作品中は別に左記の必要事項を明記したものを添える。

必要事項 ①応募部門 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤学生の方は
 学校名・学年 ⑥電話番号 ⑦ペンネーム・雅号(一般の部の希望者のみ)

※応募に際しては原稿用紙の筆記具(消えるボールペン)不可で記入してください。

※応募作品は未発表の自作作品とします。また、次に該当した場合は「応募頂いたすべての作品を無効とし、賞の発表後でも入賞・入選を取り消すものとします。

・二重投稿 または盗作、明らかた類似作品

・応募者名を複製使用した応募(本名とペンネームなど)

郵送または市川市内の複製施設(裏面参照)に設置した応募箱(投函のこと)。
 市芸w@サイトから応募可(住所: <http://www.city.nishikawana.lg.jp/c/o/terahashi>)

応募締切 令和五年九月六日(土)まで(当日消印有効)
 俳句 能村研三(沖生室)
 短歌 清水麻利子(花實同人)

選者 川柳 川口雅生(川柳新潮社主幹)
 詩 淵上熊太郎(詩人)

賞(一般の部)

●大賞(各部門一点)賞状・賞金三万円 作品集

●秀逸(各部門一点)賞状・賞金二万円 作品集

●佳作(各部門三点)賞状・賞金三千元 作品集

●大賞(各部門一点)賞状・図書カード五千円 作品集

●秀逸(各部門一点)賞状・図書カード二千円 作品集

●佳作(各部門三点)賞状・図書カード千円 作品集

※作品集はお一人様一冊として頂きます。

令和六年一月(予定)入賞入選者のみに文書で通知。

発賞式表 入賞入選作品を作品集にまとめ、刊行する。
 ※著作権は本人に帰属するものとします。ただし広報・展示等あらゆる目的に於いて市川市がその作品を使用する場合は、その使用を承諾したものとします。

※一般の部の入賞作品は市公式ウェブサイトで作作者名を掲載します。入賞入選作品について作者名住所都道府県・市区町村名のみ市内在住者は町名まで、学校名・学生を表示し、作品集に掲載します。

※応募作品は返却しません。個人情報保護法に準じて適正に管理し、本学会員に関すること以外に利用しません。

主催 市川市
 〒272-1025 千葉県市川市鬼高一丁目 市川市生涯学習センター
 一階 市川市文学ミニシアター 市川手児奈文学賞
 電話：〇四七三三〇三三三四
お問い合わせ

(切り取り線)

(事務局記入欄)



フリガナ
 氏名
 ペンネーム・雅号(「一般の部」の希望者のみ)

フリガナ
 作品

短歌
 ・俳句
 ・川柳
 ・詩

第24回市川手児奈文学賞応募用紙
(応募部門を〇で囲んでください)
 ※詩部門は作品名を記入し、作品別添とする。

※字は楷書でお書きください
 ※未発表の作品に限ります
 ※この用紙には作品を一つご記入ください

応募用紙コピー可

フリガナ
 作品



フリガナ
 氏名
 ペンネーム・雅号(「一般の部」の希望者のみ)

住所 〒
 都道
 府県
 市区
 町村

電話 ()
 年齢 歳

学校名
 学年
 年

※字は楷書でお書きください
 ※未発表の作品に限ります
 ※この用紙には作品を一つご記入ください

応募用紙コピー可

(切り取り線)

第24回市川手児奈文学賞応募用紙

(応募部門を〇で囲んでください)
 ※詩部門は作品名を記入し、作品別添とする。

フリガナ
 作品

短歌
 ・俳句
 ・川柳
 ・詩

※字は楷書でお書きください
 ※未発表の作品に限ります
 ※この用紙には作品を一つご記入ください

応募用紙コピー可